

Hm助成支援団体のご紹介

広島市防災士ネットワーク

代表世話人 やなぎさこ ちょうそう 柳迫 長三さん

平成26年8月の広島豪雨災害をきっかけに、広島市は「防災まちづくり事業」を推進。

「災害発生当時、私は消防署に勤務しており、救助や救援等いかに対応すべきか自ら体験しました。その後、現場で自分がとった行動などを講演する機会があり、もっと幅広い世代の多くの人に知ってもらい、減災に役立てたいと思うようになりました」と代表世話人を務める柳迫長三さん。

“自助”“共助”“協働”を原則とし、社会のさまざまな場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得した人が認定される防災士。平成27年1月、柳迫さんは同じ志を持ち、資格を有する6人と「広島市防災士ネットワーク」を設立し、市民による自主防災組織の日常的な活動支援と、災害発生時の柔軟かつ迅速な救助・救援等、相互支援と協力体制の確立を目指して活動しています。

災害発生時に的確かつ迅速な判断で減災へ

毎月1回、国土交通省や広島市の関係者、気象予報士などを招いて出前講座などの研修会を開き、防災士のスキルアップを図っているほか、防災士が講師となり、市民への防災意識普及のための講演会や、地域イベント等で住民に防災知識を伝えています。「平成30年7月発生の豪雨災害時には、要請に応じて広島市

以外での救助・救援等の活動をしました。この災害後は防災士の資格を取得する人も増え、現在会員は大学生から80代まで100人近くいます。しかし、まだ全ての会員が的確な救助・救援等を理解しているとは言えません。災害発生時は、迅速かつ的確に対応することが、減災に繋がる鍵となります。いつ起きるのか分らない災害時に、瞬時に判断して躊躇することなく行動できる防災士を育てることが、私たちにとって大きな課題です」。

また、最新の災害は広域で発生する可能性も高いので、広島市に限定したネットワークではなく、近隣の地域を拠点に活動する防災士と連携する、広域都市圏ネットワークの設立も視野に入れているそうです。「防災に対する住民意識も高くなり、地域での防災イベント等も増加し、私たちの活動も増えています。これからはもっと組織を強化し、柔軟な活動が出来る体制づくりにも取り組んでいきたいですね」柳迫さんは今後について語ってくれました。



▲講演会の様子



▲地域イベントでの活動の様子 (平成30年9月)

夢コレクション広島実行委員会

代表 うし お よう こ 牛尾 容子さん

高齢社会の今、これから年を重ねていく人たちの不安を少しでも拭い、ポジティブなイメージを持ってほしい。そのために、“楽しく”“幸せ”をキーワードに「幸せに歳を重ねる」ハッピーエイジングの実現を目指しているのが「夢コレクション広島実行委員会」です。

「もともと認知症介護指導者として活動していた私は、平成29年に名古屋で65歳以上のシニアの方々が参加したファッションショーを手伝い、ぜひ広島でも開きたい、と思いました」と話すのは代表を務める牛尾容子さん。平成30年1月に、10人のボランティアメンバーと一緒に設立し、賛同してくれる企業とファッションショーの出場者を募りました。

そして広島市近郊に住む、63歳～93歳の15人が参加することになり、10月から専門家を招いてウォーキングやスキンケアの講習会を実施。本番の11月のファッションショーでは、広島市西区の商業施設のイベントスペースにレッドカーペットを敷き、家族や大勢の人たちが見守る中で、お気に入りの服を着て楽しみました。



▲ウォーキングレッスンの様子



▲ショー出場者の皆さん

笑顔で楽しめる事を通して、幸せに歳を重ねる

「ファッションショーの出場者が着た服は、各自が持っているお気に入りの服はもちろん、会場となった商業施設のお店が提供してくれた物もありました。ショー出場者は、家族や知り合いが見に来てくれた事に活き活きとし、張り切っている様子がヒシヒシと伝わってきました」。終了後、ショー出場者たちは、また来年も同じ場所に立つために、一年を健康で過ごすことを誓いあったそうです。実行委員会の皆さんは、次回はより多くの人たちに会場で見てもらいたいと思うと同時に、学生などにも協力を仰ぎ、高齢者と若い世代の交流の場にしたいと考えています。「初めは照れていたショー出場者の皆さんも、本番当日レッドカーペットの上を歩く表情が変わり、とびっきりの笑顔を見せてくれました。年を重ねても新しい事にチャレンジする気持ちを持てば、認知症防止にも役立つと思います。人に頼るだけでなく自分がやりがいを持つことも、大切なのではないのでしょうか」牛尾さんは、最後にこう語ってくれました。年を重ねていくことが楽しくなる皆さんの活動に今後も期待します。



▲ファッションショーでレッドカーペットを歩く様子

特定非営利活動法人チャリティーサンタ広島支部

広島支部代表 さとう りょうた 佐藤 亮太さん

もともとは平成20年に子育て家庭へのサンタクロース訪問の際に集めた寄付で、発展途上国や被災地などの子どもたちをとりまく課題解決をめざし東京で設立されました。平成23年にメンバーの佐藤亮太さんは広島に住むようになり、「経済的に困難な家庭に、サンタクロースの思い出を」と、平成26年に広島支部を立ち上げ活動しています。子どもの貧困は社会的にも問題視されていますが、まわりの友だちと同じように行事を楽しめなかったり、将来の選択肢が限られるなど、見た目にはわかりにくい貧困で支援が届きにくい性質があります。



▲サンタ訪問の様子

サンタクロースに会う感動体験が将来の希望に

「現在、広島支部は学生や社会人、25人ほどで活動しています。主な活動は、クリスマスイブに、独自の研修を受けたボランティアがサンタクロースに扮し、広島市内の家庭を訪問。子どもたちに感動体験をプレゼントします。そして、その際にいただく寄付を活用させていただき、さまざまな事情で困難な状況にある子どものいる家庭に、無償でサンタ訪問しています。また夏場には、東日本大震災で被災した福島の子どもたちを受け入れ、一緒にキャンプを行っています」と代表の佐藤さん。わかりやすい仕組

みで広島でも、年を重ねるごとに趣旨に賛同してくれるボランティアや企業が増えています。平成30年はボランティア約100人が、約100の家庭をサンタ訪問。子どもたちにとっては夢のような存在であるサンタクロースと交流することで、将来に希望を持つことにつながっています。そして子どもの思い出不足、そのことを心苦しく思っている親を、経済的な支援とは違うかたちでサポートしています。

広島支部の皆さんは、少しずつではありますが確かな手ごたえを感じているそうです。

今後は、もっと多くの人や若い世代に、貧困問題などの社会環境を理解してもらうためにも、運営体制の強化も見据え、平成31年に佐藤さんは広島支部をサポートする立場にまわり、栗栖増香さんが代表になります。「私自身、昨年春に団体の存在を知って参加。実際に活動する中で、改めてこの活動に誇りを持つことが出来ました。こんな素敵な活動をもっと同世代の学生や社会人の人たちに知ってほしい、広がってほしいです」と、新代表になる栗栖さんは今後の抱負を語ってくれました。



▲メンバーとボランティアの皆さん

<https://santa-hiroshima.com/>

公益信託広島市
まちづくり活動支援基金
ひと・まち広島
未来づくりファンド
ふむふむ²
Hm²

(公財)広島市文化財団では、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動を支援し、市民、企業、行政の協働によるまちづくりを推進するための仕組みづくりとして、公益信託による基金「ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)」を設けています。

この基金は、心豊かでいきいきとした市民社会づくりを目指すため、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動に対する助成事業を行っており、助成先は、学識経験者などで構成する運営委員会が公開審査し、決定します。

これまでの助成団体や助成額等については、(公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部のホームページでご覧いただけます。

また、基金では多くの皆様からの寄付をお願いしています。

HP <http://www.cf.city.hiroshima.jp/hitomachi/>

寄付のお願い

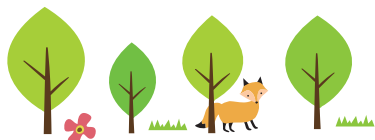
ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)は、市民・企業・行政等が力を合わせて、市民のまちづくり活動を長期にわたり支えていくために設けられた基金です。私たちの住む広島のまちをよりよくしていくために、できるだけ多くの皆さまからの寄付をお願いします。

振込先 広島銀行広島市役所支店／別段預金 No.3000017

口座名義 公益信託広島市まちづくり活動支援基金寄付金受入口
専用の振込用紙をご使用いただければ、手数料はかかりません(ただし、広島銀行の窓口からの振込に限りです)。広島銀行の振込用紙を使用、または他の金融機関からの振込の場合、手数料は自己負担となります。
※この公益信託への寄付に対して税の減免はございません。
※頂戴したご寄付は、毎月末日締めにて集計し、翌月の5日(休日の場合は翌営業日)に基金へ寄付させていただきます。



基金の愛称「Hm²(ふむふむ)」とは…【ひと(Hito) まち(Machi) 広島(Hiroshima) 未来づくり(Miraizukuri) ファンド】の略で、頭文字(HMMH)をとって“ふむふむ”と読みます。【ひと】と【まち】をつなぎ、【広島】の【未来】を創造するファンドで、みんなが“ふむふむ”と納得しながら共感が広がっていくまちづくりをイメージしています。



情報の森



生涯学習

シティカレッジ

大学などが持つ優れた研究・教育機能を市民生活に生かすことを目的に、学習機会を提供します。

会場 合人社ウェンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）

申込方法 ①電話またはファクスにより②希望講座名または大学名③氏名（ふりがな）④住所④連絡先（電話番号、ファクス番号）をご連絡ください。先着順により定員になり次第締め切ります。※各講座とも全回参加が前提です。※郵送（はがき等）による受付は行っていません。（2）受付時間：月～金（祝日を除く）午前8時半から午後5時15分まで。土曜日・日曜日・祝日は閉所しています（来所の場合は午前9時半から）。（3）申込開始日まではお受けできませんので、下記の表をご確認ください。

申込・問合せ （公財）広島市文化財団ひと・まちネットワーク部管理課事業係 ☎ 082-541-5335 082-541-5611

〔シティカレッジ〕

広島女学院大学	講座名	保育と教育の今－変わりゆくもの・変わらないもの－
	日時	5/13、5/27、6/3、6/10 月曜（全4回）18:00～19:30
	対象・定員	高校生・大学生・社会人 60人
	受講料	無料
広島文化学園大学	申込開始日	4月1日
	講座名	音楽を楽しむ
	日時	5/18、6/1、6/15 土曜（全3回）13:00～14:30
	対象・定員	高校生・大学生・社会人 30人
安田女子大学	受講料	無料
	申込開始日	4月1日
	講座名	日常に活かす心理学
	日時	5/25 土曜（全3回） ①10:30～12:00 ②13:00～14:30 ③14:40～16:10
	対象・定員	高校生・大学生・社会人 60人
	受講料	無料
	申込開始日	4月1日

広島国際学院大学	講座名	情報文化を「みる」
	日時	7/6 13:00～15:00 7/13、7/20 13:00～14:30 土曜（全3回）
	対象・定員	高校生・大学生・社会人 40人
	受講料	無料
	申込開始日	6月3日
近畿大学工学部	講座名	「ファンタジーと言葉」についてのエッセイを英語で読もうⅡ
	日時	8/17、8/24、8/31 土曜（全3回）13:30～17:00
	対象・定員	高校生・大学生・社会人 40人
	受講料	無料
	申込開始日	7月1日

リカレント講座

大学などの高等教育機関と連携して、市民の皆さまに高度で専門的な学習機会を提供する公開講座です。

県立広島大学との連携講座 「厳島合戦再考ーこれが合戦の実像だー」

天文24年（1555）の厳島合戦は、毛利元就が謀略によって陶晴賢を宮島におびき寄せ、奇襲攻撃によって勝利したと考えられてきました。しかし近年では、新たな史料も紹介され、合戦のイメージは大きく変わりつつあります。この講座では、近年の厳島合戦研究の成果を集大成し、わかりやすく紹介します。

場所 合人社ウェンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）北棟5階研修室AB

定員 100人（定員を超える場合は抽選）

受講料 3,000円

対象 広島市内に在住か通勤・通学の方

申込方法 4月15日（月）から申込受付開始。申込開始日以前は受付できません。はがき（1人1枚）に①講座名②住所③氏名（ふりがな）④電話番号を記載のうえ、下記宛先へお送りください。〔宛先〕（公財）広島市文化財団ひと・

まちネットワーク部管理課
「リカレント講座（県立広島大学）」係
〒730-0036 中区袋町6番36号

申込締切 5月17日（金）【必着】

問合せ （公財）広島市文化財団ひと・まちネットワーク部管理課事業係

☎ 082-541-5335

1回	日時	6月25日（火）18:00～20:00
	テーマ	陶晴賢のクーデターと毛利元就の立場
2回	日時	7月2日（火）18:00～20:00
	テーマ	「防芸引分」と折敷畑合戦
3回	日時	7月9日（火）18:00～20:00
	テーマ	山と海の戦い
4回	日時	7月16日（火）18:00～20:00
	テーマ	陶軍の厳島上陸
5回	日時	7月23日（火）18:00～20:00
	テーマ	警固衆の動向
6回	日時	7月30日（火）18:00～20:00
	テーマ	弘中隆兼が見た厳島合戦
講師		秋山 伸隆（県立広島大学 特任教授）

イベント

すべての人が押さえておきたい 「お金の本質」ガイダンス ～ゆとりある人生をおくるために 知っておくべきお金の話～

お金の基本的な知識はもちろん今までの常識を覆すそんな学びを体験できる内容となっています。

「お金の本質」ガイダンス、実生活に則してローン・金利変動の影響・所得についてゲームを通じて学んでいく「ライフマネーバランスゲーム」を開催します。

お金に困らない生き方を学び体験して今後の生活にお役立ていただける内容となっております。

ぜひ、お気軽にご参加ください

時間 午前10時～正午

定員 20人（先着順）

場所 （特非）日本マネーバランスFP協会（広島市南区段原南二丁目3番28号AKビル202）

日にち	内容
4月13日（土）	「お金の本質」ガイダンス
5月12日（日）	「お金の本質」ガイダンス&ライフマネーバランスゲーム
6月2日（日）	「お金の本質」ガイダンス
7月6日（土）	「お金の本質」ガイダンス
8月4日（土）	「お金の本質」ガイダンス&ライフマネーバランスゲーム
10月5日（土）	「お金の本質」ガイダンス
11月9日（土）	「お金の本質」ガイダンス&ライフマネーバランスゲーム
12月7日（土）	「お金の本質」ガイダンス

参加費 無料

申込方法 問い合わせ先へお電話またはE-mailもしくはホームページからお申し込みください。開催日の1週間前までにお申し込みください。

問合せ （特非）日本マネーバランスFP協会

☎ 082-298-3700

MAIL info@jmbf.jp

URL http://www.jmbf.jp



▲講座の様子

障害年金無料相談会 ～障害年金についてのお悩み・お困りを解決します～

今まで、そんな制度があることを知らなかった。自分の病気は対象なの？一度は、耳にしたり、説明を受けたけれど、行動に移せない…など。

ご本人やご家族、医療ソーシャルワーカーや障害者支援施設のみなさまからの障害年金制度にかかる「悩み」「困った」について、無料相談会を行っております。

お気軽にお電話ください。

日時 毎月1回

場所 広島市、廿日市市、呉市など

参加費 無料

申込方法 問い合わせ先へお電話でご予約ください。

持参物 年金手帳、障害者手帳、傷病について参考になる診断書等（ご用意頂ける範囲内でお持ちください。）
※日程・会場が決まり次第、問合せ先又はHPでお知らせいたします。

問合せ NPO 法人障害者年金ヘルプデスク

☎ 0120-272-212

URL http://www.syougainenkin.net/



スタンプショウ＝ヒロシマ 2019

「スタンプショウ＝ヒロシマ」は、1983年天野安治氏（切手収集家）の提唱により第1回が開催され、以来、西日本最大の切手展として発展を重ねました。

切手収集の面白さ、本格的なコレクションづくりに触れていただくために全国からの優秀作品を展示するほか、各種イベントコーナーを用意してみなさまのお越しをお待ちしています。

展示内容 改元（企画）、バオバブ（テーマ）

日時 5月11日（土）午前10時～午後5時、12日（日）午前9時～午後3時

場所 広島県立産業会館・西展示館第3展示場（広島市南区比治山本町16番31号）

入場料 無料

主催 スタンプショウ＝ヒロシマ実行委員会、公益財団法人日本郵趣協会 中国・四国地方本部

問合せ スタンプショウ＝ヒロシマ実行委員会 ☎ 082-299-7192（横原）



▲作品展示の様子

ひと・まち広島未来づくりファンド Hmí（ふむふむ） 第16回助成事業「成果発表会」 &第17回助成事業「公開審査会」

市民のみなさんの自主的なまちづくり活動を助成する基金Hmí（ふむふむ）。広島未来をつくる魅力あふれる活動の成果発表やこれから新たに取り組もうとしている提案事業の審査を行います。

日時 5月11日（土）第16回成果発表会：午前10時～正午、第17回公開審査会：午後1時～5時15分

場所 合人社ウェンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）北棟4階ギャラリー

問合せ （公財）広島市文化財団ひと・まちネットワーク部管理課事業係

☎ 082-541-5335



▲成果発表会の様子

助成

（公財）広島市文化財団 2019年度下期文化活動助成事業

市民の皆さんの自主的な文化活動の促進を図るため、団体または個人の文化活動の成果を発表する事業に要する経費の一部を助成します。

対象団体 ①文化活動の場が主として広島市内にあること②個人、または団体の構成員及び、出演者・出品者の5割以上が広島市内に居住または通勤・通学していること③団体の所在地、または連絡先が広島市内にあること④目的、組織、代表者等団体の運営に必要な事項についての定めがあること⑤国、地方公共団体および企業等が資本金、基本金その他これらに準ずるものを出資した法人でないこと⑥非営利団体であること（講師が受講料を募り受講料・会費を徴収する教室等は助成対象外）

対象となる事業 音楽、美術、演劇、民俗芸能などの文化活動を行っている団体または個人が行う日ごろの活動の成果を発表する事業（出版物の発行は除く）で次に掲げる要件に該当するもの①事業が広島市内で開催され、広く市民に公開されること②非営利の事業であること③政治または宗教活動と関わりのない事業であること

対象事業の実施期間 2019 年 10 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

助成金額 助成の対象となる経費の 2 分の 1 以内で 1 件の助成額が 20 万円以内
※詳細は下記ホームページをご覧ください。

応募方法 所定の申請書に必要事項をご記入のうえ、次のとおりお申込みください。

受付期間 6 月 1 日（土）～ 30 日（日）※持参の場合は月～金（祝日を除く）の午前 9 時～午後 5 時まで受付。郵送の場合は当日消印有効。

申込・問合せ（公財）広島市文化財団事業課

〒730-0812 広島市中区加古町 4 番 17 号
☎082-244-0750 ☎082-245-0246

URL <http://www.cf.city.hiroshima.jp/bunka/>

お知らせ

「美術ひろしま 30 2016.4-2018.3」刊行

「美術ひろしま」は 1981（昭和 56）年に創刊して以来、広島美術活動のあゆみを継続して記録し紹介してきました。

第 30 集の今号では、地元の美術関係者を中心に総勢 18 人が執筆にあたりました。2016-17 年度に発表された美術作品や広島市内で開催された美術展覧会の紹介、広島在住・ゆかりの作家の特集など広島美術界の動きが 1 冊に詰まっています。

内 容 「WORKS」= 2016-17 年度に発表された広島在住・ゆかりの作家の選りすぐり 29 作品。「CLOSE UP

ひと・仕事」= 写真家の笹岡啓子さん、現代美術作家の平野薫さん、日本画家の竹永克彦さん、こうの史代さんの漫画『この世界の片隅に』など、今、ホットに活躍する作家たちの一貫した活動などに焦点をあてて紹介。ほか「都市と表現」「話題の展覧会」「ひろしまが生んだ美術作家たち」など。

閲覧・入手方法 広島市内の図書館、公民館などでご覧いただけるほか、下記の書店等で販売しています。[A4 判 144 頁 2,000 円（税込）]

【販売場所】紀伊國屋書店／フタバ図書／廣文館／ひろしま美術館／現代美術館／JMS アステールプラザ 1 階情報交流ラウンジ／広島市文化財団事務局（郵送販売・バックナンバーの販売）
問合せ 公益財団法人広島市文化財団事業課美術ひろしま係
〒730-0812 広島市中区加古町 4 番 17 号 JMS アステールプラザ内

☎082-244-0750 ☎082-245-0246

MAIL bunka@cf.city.hiroshima.jp

URL <http://www.cf.city.hiroshima.jp/bunka/>



当プラザでも閲覧できます！

プラザ主催事業のご案内

楽し人（タノシビト）のためのあそび Cafe

相談員のみなさんに余暇を充実させるお話を聞いたり、余暇についての個別相談や「余暇診断シート」を使った

アドバイスを受けられます。お茶を飲みながらの気軽な相談会です。毎月第 3 土曜日に開催しています。

日 時 4 月 20 日（土）、5 月 18 日（土）、6 月 15 日（土）、7 月 20 日（土）

いずれも午後 2 時～ 3 時半

※受付は当日午後 1 時半～

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）南棟 1 階ロビー

相談員 広島県余暇プランナー協会会員

平成 31 年度各種パソコン講座

エクセル、ワード、身近なソフトを使用した、実用的な学習会です。

申込方法 往復はがき、ファクスまたはメール（m-plaza@cf.city.hiroshima.jp）で講座名・住所・氏名（ふりがな）・電話番号（ファクスでお申込みの方はファクス番号）を記入のうえ申込期間内に合人社ウエンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）へお申込みください。①③⑤～⑦の講座は、託児があります。託児（1 歳半以上の未就学児）を希望の場合は子どもの年齢を記入ください。

定 員 各講座 38 人（②は 20 人）

※申込多数の場合は抽選

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）北棟 6 階マルチメディア実習室

[パソコン講座]

講 座 名	①LINEのmyスタンプをつくらう
日 時	5/12、5/19、5/26 日曜（全3回）13:30～15:30
対 象	文字入力・パソコンの基本操作ができる方
受 講 料	3,500円（テキスト代込み）
申込期間	4月1日～5月1日（必着）
講 座 名	②Jimdoでホームページ作成講座
日 時	5/24、5/31、6/7、6/14 金曜（全4回）19:00～21:00
対 象	送受信可能なメールアドレスを持ち、パソコンの基本操作ができる方
受 講 料	4,500円（テキスト代込み）
申込期間	4月1日～5月14日（必着）

講 座 名	③やさしいエクセル
日 時	7/7、7/14、7/21、7/28 日曜（全4回）13:30～15:30
対 象	文字入力・パソコンの基本操作ができる方
受 講 料	4,500円（テキスト代込み）
申込期間	5月15日～6月26日（必着）
講 座 名	④Excel応用「関数」講座
日 時	7/19、7/26、8/2、8/9 金曜（全4回）19:00～21:00
対 象	Excelの簡単な関数や計算式を使った表作成ができる方
受 講 料	4,500円（テキスト代込み）
申込期間	5月15日～7月9日（必着）
講 座 名	⑤暮らしに活かすエクセル講座
日 時	9/5、9/19、10/3、10/17、10/31、11/14 隔週木曜日（全6回）10:00～12:00
対 象	文字入力・パソコンの基本操作ができる方
受 講 料	7,000円（テキスト代込み）
申込期間	7月1日～8月25日（必着）
講 座 名	⑥暮らしに活かすワードの講座
日 時	9/5、9/19、10/3、10/17、10/31、11/14 隔週金曜日（全6回）13:30～15:30
対 象	文字入力・パソコンの基本操作ができる方
受 講 料	7,000円（テキスト代込み）
申込期間	7月1日～8月25日（必着）
講 座 名	⑦デジカメ写真の活用講座
日 時	9/6、9/20、10/4、10/18、11/1、11/15 隔週金曜日（全6回）10:00～12:00
対 象	文字入力・パソコンの基本操作ができる方
受 講 料	7,000円（テキスト代込み）
申込期間	7月1日～8月25日（必着）
講 座 名	⑧Excelマクロ（VBA）の基礎講座
日 時	9/27、10/4、10/11、10/18、10/25、11/1 金曜日（全6回）19:00～21:00
対 象	Excelの簡単な関数や計算式を使った表作成などの基本操作が出来る方
受 講 料	6,500円（テキスト代込み）
申込期間	8月1日～9月17日（必着）

パソコンサロン

基本的なパソコン操作に自信のない方を対象にパソコンを無料開放します。会場には ICT ボランティアがいますので、わからないことがあれば気軽におたずねください。

日 時 4/7、4/14、4/21、6/2、6/9、6/16、6/23、8/4、8/18、8/25

原則、偶数月の日曜日

午後 1 時半～ 4 時半

参加費 無料

申 込 不要

※パソコンの開放台数は 20 台

※パソコンの持込みはご遠慮ください。

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）北棟 6 階マルチメディア実習室

平成 31 年度共催団体募集！「市民活動団体等成果発表事業」

皆さんの日頃の活動成果を、まちづくり市民交流プラザとの共催事業としてひろくPRしてみませんか？

展示、上映、講演会など、表現方法は工夫次第です。団体のPRや会員の募集などにお役立てください。

実施時期 平成 31 年度（2019 年 4 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日）中

実施場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）研修室、ギャラリー、マルチメディアスタジオなど

団体条件 原則として、広島市内を主な活動場所とし、まちづくりや生涯学習、ボランティアなどの活動に関わる市民団体、NPO 法人等（個人での活動、営利団体、特定の政治や宗教にかかわる団体は除く）

実施条件 次の条件のすべてを満たす事業であること

①市民活動及びまちづくり活動の振興に寄与し、プラザの施設及び付属設備を活用して団体等が主体的に企画・実施する事業②先進性、モデル性がある事業③広い範囲で公益性がある事業④複数の団体や行政機関、企業等の社会貢献活動等と連携して実施する事

業⑤経費など事業計画に無理がない事業

申込方法 所定の申請書に必要事項を記入のうえ、団体の概要がわかる資料、事業計画書・事業予算書等（様式自由）を添えて、原則、開催予定日の 2 ヶ月前までにプラザまで来館によりお申し込みください。

※ 1 団体につき 1 事業。

※審査の結果、共催事業として開催できない場合もあります。

平成 31 年度「まちづくり市民交流フェスタ」開催日決定！

ボランティアやまちづくり、生涯学習など市民活動に取り組んでいる団体・グループやまちづくりボランティア人材バンクの登録者の活動紹介・成果発表の場として「まちづくり市民交流フェスタ」を 2019 年 11 月 9 日（土）・10 日（日）に開催します。

これに先立ち、フェスタに参加する団体・グループを 6 月下旬より募集します。フェスタに参加して、自分たちの活動の PR や、他の団体・グループとのネットワークをひろげませんか。
※参加団体募集開始時期は現時点での予定であり、変更する可能性がありますのでご了承ください。
※詳細については、決定次第当プラザホームページにて公開します。



▲ステージ発表の様子

「プラザ主催事業のご案内」に関する申込・お問合せは・・・

広島市まちづくり市民交流プラザ

〒730-0036 広島市中区袋町6番36号
（合人社ウエンディひと・まちプラザ）
☎082-545-3911 ☎082-545-3838



企業等社会貢献活動研究会活動報告

ひろしま男子駅伝応援・清掃ボランティア

広島冬の風物詩「ひろしま男子駅伝」。離れてしまったふるさとやお住まいの都道府県を代表して走る選手たちを応援しようと毎年たくさんの人出ですが、プラザに事務局を置く「企業等社会貢献活動研究会」（以下「社貢研」）でも、この男子駅伝を応援し盛り上げるとともに沿道の環境美化を行う「ひろしま男子駅伝応援・清掃ボランティア活動」を実施しています。

社貢研は、市民、企業、行政による協働のまちづくりを進めるため、広島市内に本社または支社・支店を置き、社会貢献活動に取り組む企業・団体19社1団体からなる研究会です。情報交換や活動促進事例の紹介等を行う例会のほか、社貢研独自の事業を行っており、このボランティア活動もその一つです。

男子駅伝当日は、コースになっている平和大通り沿い2か所（NHK前、広島東急REIホテル前）にごみステーションを設置し、清掃用具の貸し出しとゴミの回収を行いました。ここに、駅伝スタート前の正午頃からたくさんの社貢研参加企業・団体の関係者やご家族のみなさんが集まられます。ごみ



▲社貢研例会の様子

袋などを受け取り、平和公園でスタートを見送った後には、ごみを拾いながら戻って来られるみなさんで大変にぎわいました。

その後も次々と活動にご参加いただき、最終区のランナーが平和大通りを走る瞬間は沿道で一緒



▲ごみステーションの様子

に応援！最後のランナーを見送った後もごみの回収を続け、午後3時半に清掃活動を終了しました。

この活動で収集したごみは可燃、不燃、ペットボトル、カン・ビンなど計39袋、参加された方は各社・団体あわせて519人にもなり、最後には拾うゴミが見当たらないという方もいらっしゃるほど多くのご参加をいただきました。

愛のカレンダー収集・配布大作戦

職場やご自宅で余っているカレンダーを社貢研の各企業・団体に集めていただき、広島平和文化センターや広島市社会福祉協議会などの団体を通じて、広島で暮らす留学生や地域の高齢者にお配りしている事業です。年末から年始にかけて集まったカレンダーは7,855部、手帳は1,680冊にもなりました。

ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

このほか社貢研では、一般の市民の方にもご参加いただける「協働セミナー」を開催しています。今後も市民のみなさんに研究会の活動を還元して行けるよう取り組んで参ります。この「らしっく」誌上でも随時ご紹介しますので楽しみに！

募集しています！

「らしっく『情報の森』」に載せてほしい！という、イベントなどの記事を募集しています。次号は、「7月下旬発行予定」です。8月以降の情報をお待ちしています。下記、発行者までお送りください。[5月末日必着]

合人社ウェンディひと・まちプラザ（広島市まちづくり市民交流プラザ）

●開館時間

午前9時30分～午後10時

●休館日

毎月第3月曜日、12月29日～1月3日

●交通アクセス

市内電車：「袋町」電停から徒歩約3分
バス：「袋町」バス停（広島電鉄・広島バス）から徒歩約3分
アストラムライン：「本通駅」から徒歩約6分

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。ただし、車いす利用者等にご利用いただく駐車場は3台分用意しています。

※自転車・バイクの方は、地下の公共駐輪場（有料）をご利用ください。

●ホームページ

<http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/>

●ひろしま情報a-ネット

<http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/>

●E-mail

m-plaza@cf.city.hiroshima.jp

〒730-0036 広島市中区袋町6-36

TEL: 082 (545) 3911 (代表)

TEL: 082 (545) 3913 (施設予約受付専用)

FAX: 082 (545) 3838

